

市町における災害時 保健活動の実際から 平時の保健活動を考える

令和7年9月27日（土）
広島県東広島市安芸津支所
福祉保健課 林 裕美

東広島市の概要



面積 635.16km²
 人口 190,363人 (R7.3.31現在)
 高齢化率 25.0%
 世帯数 92,179世帯

【H30年3月31日現在 : 人口 186,012人】

《地区別人口（高齢化率）》

西条	76,312人 (15.1%)
八本松	28,824人 (23.4%)
志和	6,770人 (39.9%)
高屋	30,009人 (24.6%)
福富	2,425人 (40.6%)
豊栄	3,304人 (46.6%)
河内	5,947人 (40.2%)
黒瀬	22,645人 (30.2%)
安芸津	9,776人 (41.3%)

【平成30年常勤保健師総数：39人】

《本庁》

こども家庭課	10人
健康増進課	11人
地域包括ケア推進課	11人
(地域包括支援センター含む)	
障害福祉課	1人
職員課	1人

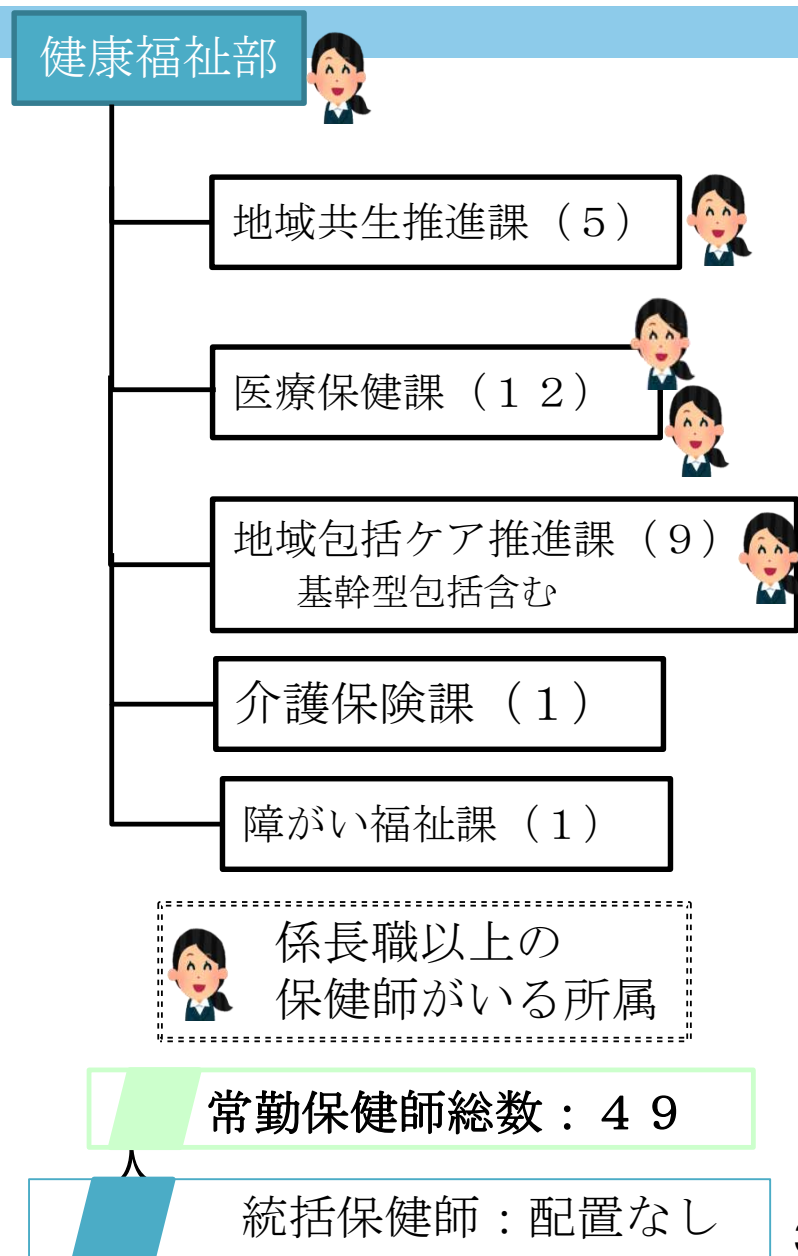
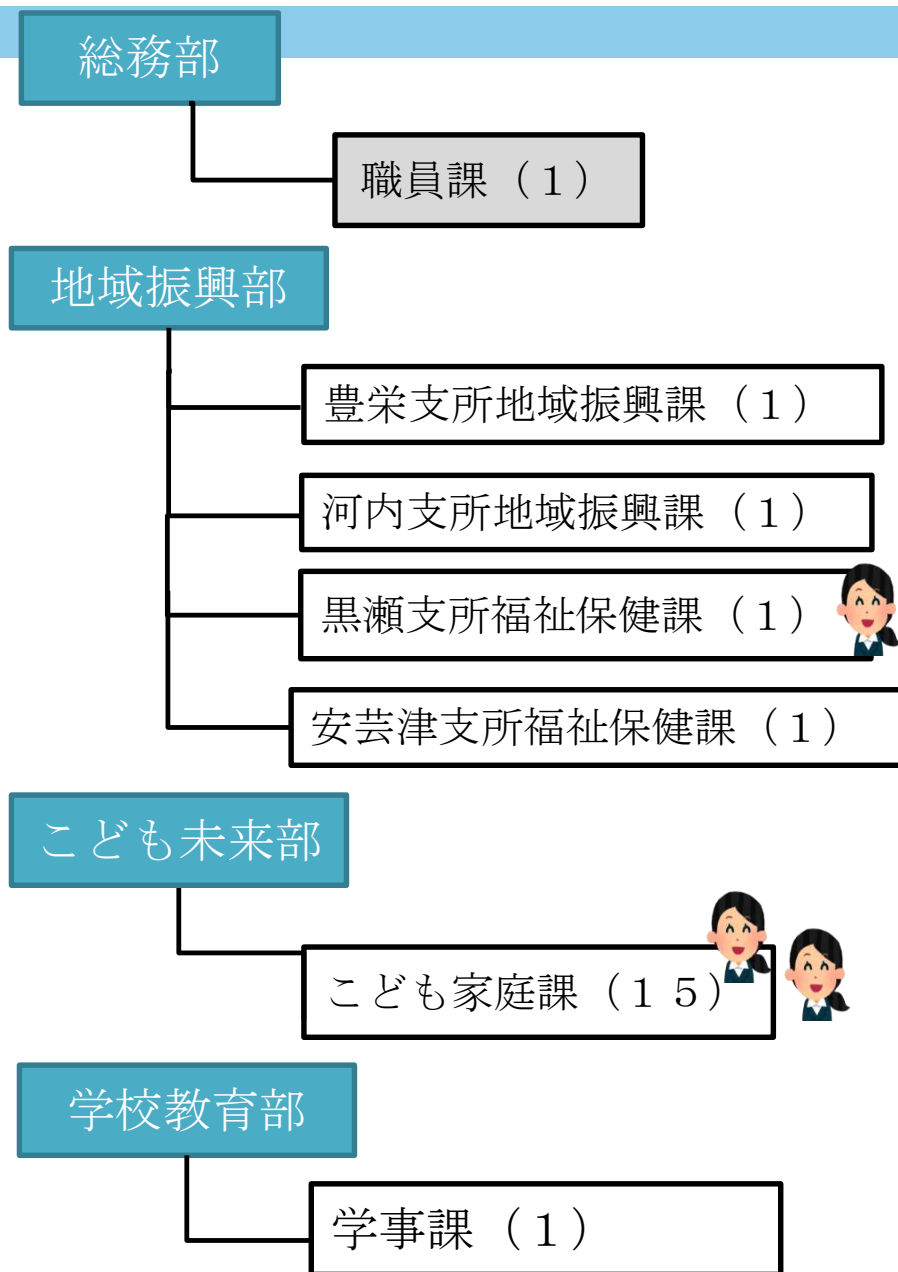
《支所》

豊栄支所	1人
河内支所	1人
黒瀬支所	2人
安芸津支所	1人

(再掲) 《地域包括支援センター》

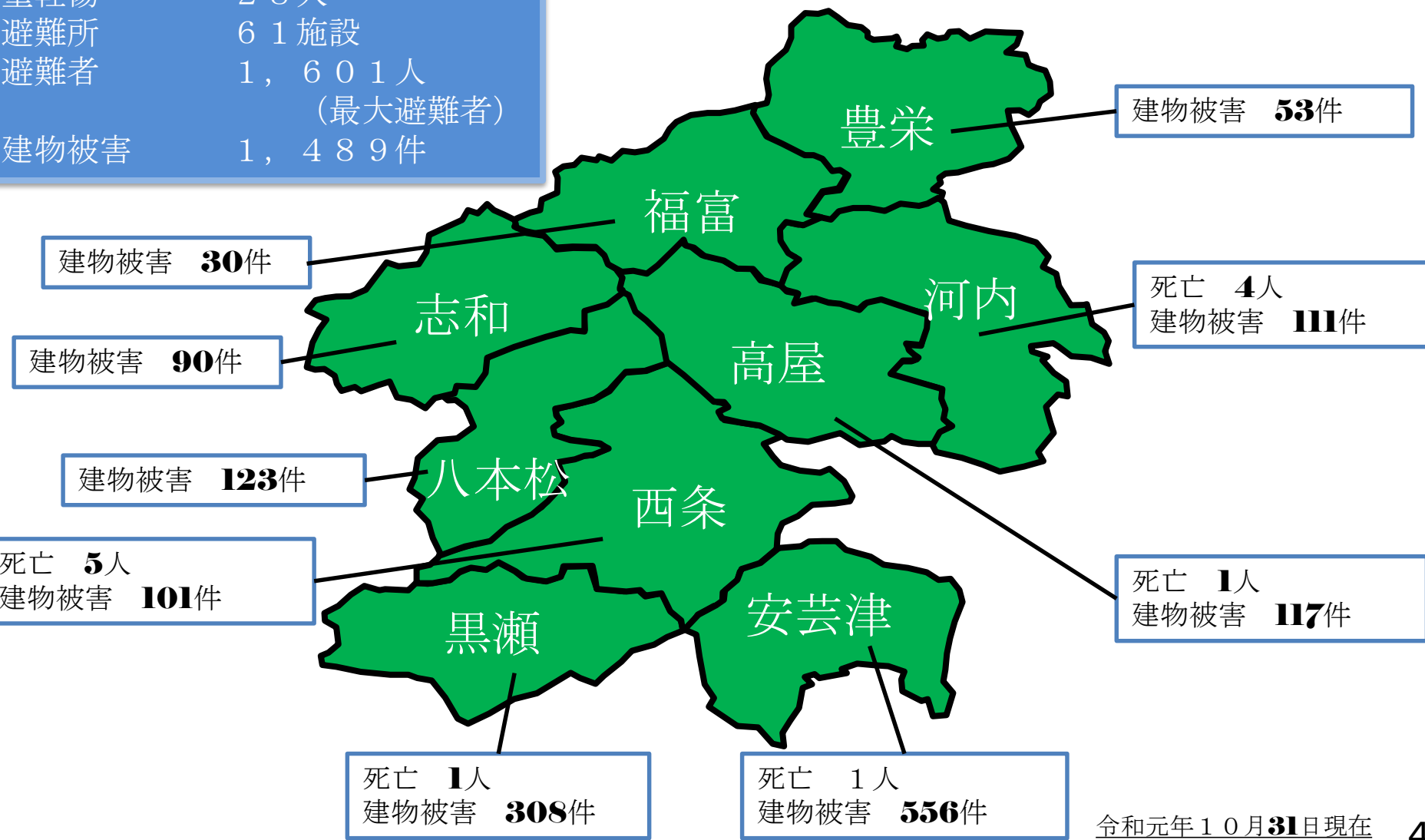
福富支所内	1人
黒瀬支所内	1人
安芸津支所内	1人

統括保健師：配置なし

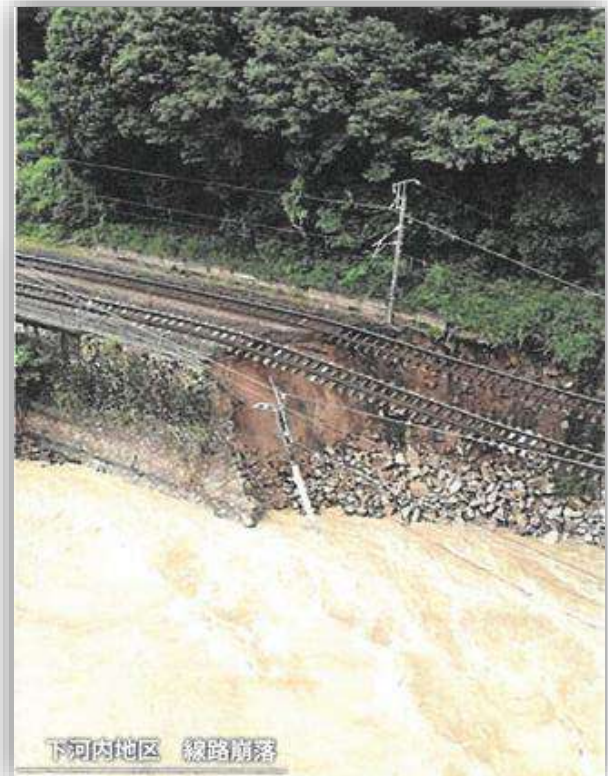


東広島市の被災状況

死亡 12人
行方不明 1人
重軽傷 28人
避難所 61施設
避難者 1,601人
(最大避難者)
建物被害 1,489件



東広島市の被災状況



災害時保健活動初動状況

災害直後
(0～2日)

- 保健所保健課長（保健師）からの提言

- ＊ 災害応援チームが派遣されるにあたり、保健師の活動体制づくりが必要
- － ＊ 情報共有の場を定期的に行うことが必要

災害後
3日

- 協議

- ＊ メンバー：本庁3課の保健師（係長＋保健師）
保健所（保健課長＋リエゾン保健師）
- － ＊ 内 容：保健師配属課各課の情報共有・市の体制づくり・応援チームへ
- 依頼する

災害後
4日

- 公衆衛生チーム設置

- ＊ 体制：統括保健師（1）・統括補佐保健師（2）・各課の保健師
- 保健所リエゾン保健師
- ＊ 拠点整備：会議室を長期借り上げし、朝・夕ミーティングを行う
- ＊ ミーティングの内容：情報共有・応援チームに依頼する内容協議・応援チームとの情報共有と報告
- 災害状況及び保健活動の現状・課題の共有

公衆衛生ミーティング（情報共有の場）

平成30年7月9日～平成30年8月10日

毎日（朝・夕）

現状把握・情報共有・活動報告



平成30年8月11日～平成30年9月30日

週1回

現状把握・情報共有・活動報告・課題の共有



平成30年10月1日～令和3年3月

月1回

活動のまとめ・アクションカード、マニュアル作成協議
地域支え合いセンターとの会議
こころのケアセンターとの会議

活動のまとめを！

◆保健所課長（当時）より

活動のまとめはすべて終わってからでは遅い。

途中からでもまとめを。

後から思い出しながらより、まとめをしていこう。

◆方法

公衆衛生ミーティングでまとめる方法等協議

◆まとめる内容

- ・ 実際の活動、困った事、要望、良かった事
- ・ ロードマップ

個人の
まとめ

所属毎で協議して
まとめる

市全体を
まとめる

困ったことと主な意見

◆フェーズ0◆

- ・保健師としての動きはなかった。
- ・情報の共有ができず、他部署の保健師の動きがわからなかった。
- ・災害時、何をすべきでどう動けば良いのか全くわかっていなかった。
- ・数日先の見通しがつかず、目の前のことしか考えられなかった。

◆フェーズ1◆

- ・災害時公衆衛生活動の指示系統がなかった。
- ・統括保健師の位置付けもなく、県との連携窓口が不明確であった。
- ・保健師としての動きはなく、そもそもやるべき事を理解していなかった。
- ・事務職員も避難所対応の適切な動きがわからなかった。

災害時保健活動のまとめを行って・・・

◆振り返りとまとめを行って・・・

今後同じような災害があった時今回の経験を
活かして、住民のためにより良い活動をしたい！

→ アクションカード・マニュアル
を作ろう！

◆アクションカード・マニュアル作成時気を付けた点

- ・ 新人でも見て動けるものに
- ・ わかりやすく、見やすいものに
- ・ 保健師 全員が知っているものに

東広島市災害アクションカード作成について

アクションカードとは

災害発生直後に最低限必要となる行動を簡単かつ具体的に記載したもので、自立した行動を促し、その時に応じた判断を行うための指示書

対象フェーズ

フェーズ0～1（72時間以内）

経過

月一回の公衆衛生ミーティングにおいて、災害時の活動をまとめていく中で、アクションカードを作成することを決定した。各課からワーキングメンバーを選出し、ワーキング会議やシュミレーション研修を実施すると共に、公衆衛生ミーティングで報告と承諾を得ながら作成した

月日		内容	
第1回	令和元年12月3日	ワーキング会議	アクションカードとは何かを確認し、内容を検討
第2回	令和元年12月12日	ワーキング会議	アクションカードの内容を検討
第3回	令和2年1月9日	ワーキング会議	アクションカードの内容を検討
第4回	令和2年2月21日	ワーキング会議	危機管理課とアクションカードについて協議
第5回	令和2年2月25日	ワーキング会議	危機管理課との協議報告、アクションカードの内容を検討
第6回	令和2年3月24日	ワーキング会議	アクションカードを元にシュミレーションを実施し、内容を修正
第7回	令和2年6月9日	シュミレーション研修	新人保健師を中心にシュミレーション研修を実施し、修正

ワーキングチーム員（令和元年度）

	所属		職位
1	健康福祉部	健康増進課	主査
2		地域包括ケア推進課	主査
3	こども未来部	こども家庭課	主査
4	生活環境部	安芸津支所福祉保健課	係長
5	西部東保健所	保健課	係長
（参加可能時のみ）			
	所属		職位
1	健康福祉部	障害福祉課	主査
2	生活環境部	黒瀬支所福祉保健課	主査
3			主査
4		豊栄支所地域振興課	主査
5		河内支所地域振興課	主査

アクションカード

東広島市災害時保健活動

アクションカード

～フェーズ0～1(72時間以内)～

●災害時の公衆衛生活動の目的：「防ぎえる死と、二次健康被害の最小化」

アクションカードとは、「自立した行動を促し、その時に応じた判断を行うための事前指示書」であり、災害発生時に最低限必要となる行動を簡単かつ具体的に記載したものです。

災害時に各課の担当職員が揃わない場合でも、参集できた職員で協力し、アクションカードに沿って、役割を決め、必要な対応を臨機応変に行いましょう。

◇◆◇目次◇◆◇

災害時の保健活動（保健師）の役割（72時間以内）

～災害時保健活動マニュアルと

アクションカードを準備する～

●発災が勤務時間内の時は、ここから（平日）●

アクション1：来庁者及び事業実施参加者の安全確保・避難誘導

●発災が勤務時間外の場合は、ここから（土日・夜間など）●

アクション2：保健師の安否確認と参集可否の確認

（「勤務時間内」と「勤務時間外」があり）

アクション3：保健師の参集と保健活動班の立ち上げ

アクション4：災害本部、保健所への報告

アクション5：保健活動班の部屋の準備

アクション6：被災状況を確認して

～わかる範囲でわかるところから～

アクション7：避難所の設置状況を確認して

アクション8：避難行動要支援者・要配慮者の安否を確認して

アクションカード資料

東広島市災害時保健活動

アクションカード

【 資料編 】

～フェーズ0～1(72時間以内)～

●災害時の公衆衛生活動の目的：「防ぎえる死と、二次健康被害の最小化」

アクションカードとは、「自立した行動を促し、その時に応じた判断を行うための事前指示書」であり、災害発生時に最低限必要となる行動を簡単かつ具体的に記載したものです。

災害時に各課の担当職員が揃わない場合でも、参集できた職員で協力し、アクションカードに沿って、役割を決め、必要な対応を臨機応変に行いましょう。

◆◆目次◆◆

災害時の保健活動（保健師）の役割（72時間以内）

～災害時保健活動マニュアルとアクションカードを準備する～

●発災が勤務時間内の時は、ここから（平日）●

アクション1：来庁者の安全確保・避難誘導（発災時の時間や状況による）

庁舎等の被災状況を確認する

アクション1-1：クロノロ（経時活動記録）の準備をする

●発災が勤務時間外の場合は、ここから（土日・夜間など）●

アクション3：保健師の安否を確認する（安全確認と参集確認）

現在職場にいるメンバーで役割を決める

アクション4：本部への報告、確認「保健活動班立ち上げを」検討し立ち上げ

アクション5：活動拠点の整備と必要物品の準備（保健活動班の部屋）

アクション6：市内の被災状況（地域と規模等）を確認する

アクション7：避難所状況と保健医療福祉ニーズを確認する

避難所以外の状況と保健医療福祉ニーズを確認する

アクション8：避難行動要支援者・要配慮者の安否確認と対応

アクション9：関係機関との連携と活動調整

アクション10：受援の検討と受け入れ準備

◆資料編◆ 1. 地域診断

東広島市災害マニュアル作成について

目的

被災者の避難生活等に伴う健康被害や長期化する肉体的精神的な疲労による体調不良、ストレスに対して、予防や早期対応への支援を行うこと

対象フェーズ

フェーズ0（災害発生後24時間以内）～4（概ね1～2か月以降）

経過

アクションカードを作成するなかで、マニュアル作成の必要性を感じ、月1回の公衆衛生ミーティングにおいて作成を決定した。各課から選出されたワーキングメンバーにて検討し、公衆衛生ミーティングで報告と承諾を得ながら作成した。

ワーキングチーム員（令和2年度）

月日		内容	
第1回	令和2年6月16日	ワーキング会議	マニュアル作成について
第2回	令和2年7月6日	ワーキング会議	マニュアル作成について
第3回	令和2年7月16日	ワーキング会議	アクションカードとマニュアルについて

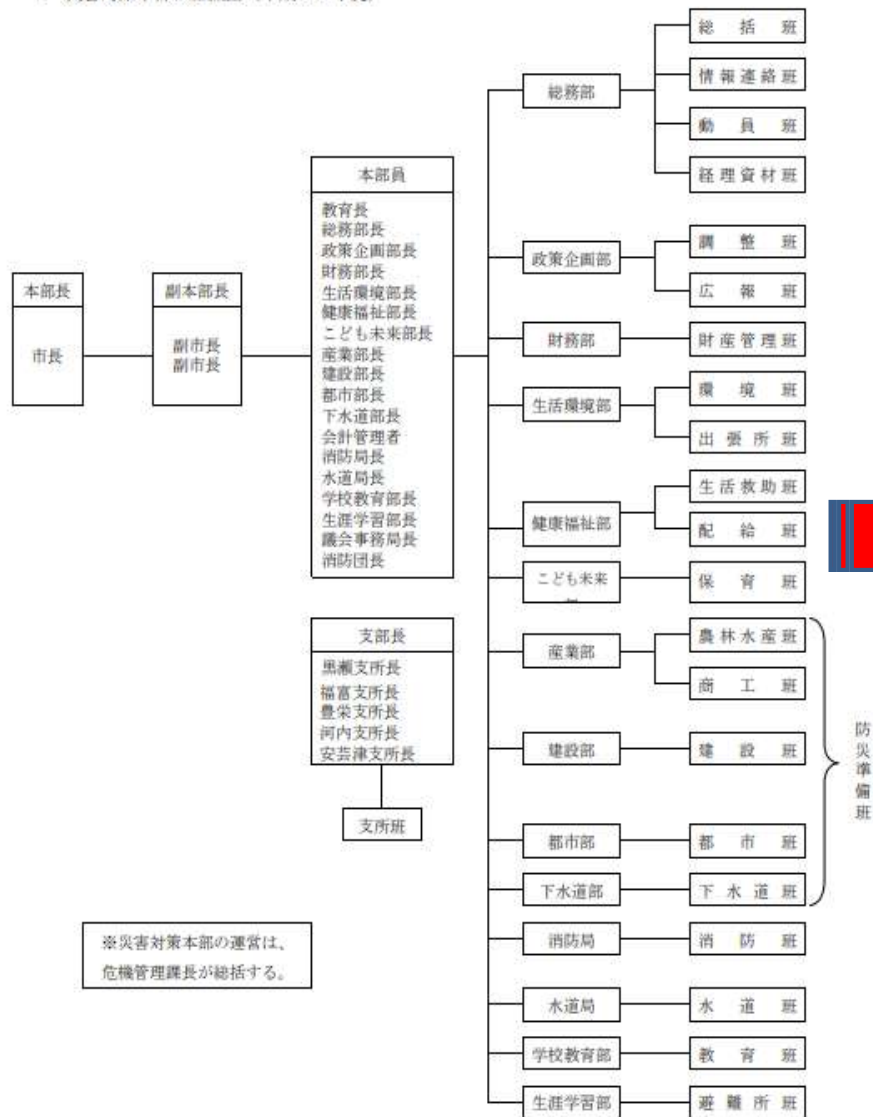
		所属	職位
1	健康福祉部	健康増進課	主任 保健師
2		地域包括ケア推進課	主任保健師
3	こども未来部	こども家庭課	主査
4	生活環境部	安芸津支所福祉保健課	係長
5	西部東保健所	保健課	係長 事業調整委員
（参加可能時のみ）			
		所属	職位
1	健康福祉部	障害福祉課	主査
2	生活環境部	黒瀬支所福祉保健課	課長
3			主査
4		豊栄支所地域振興課	主査
5		河内支所地域振興課	主査

災害対策本部の組織図（地域防災計画）

災害時

別表

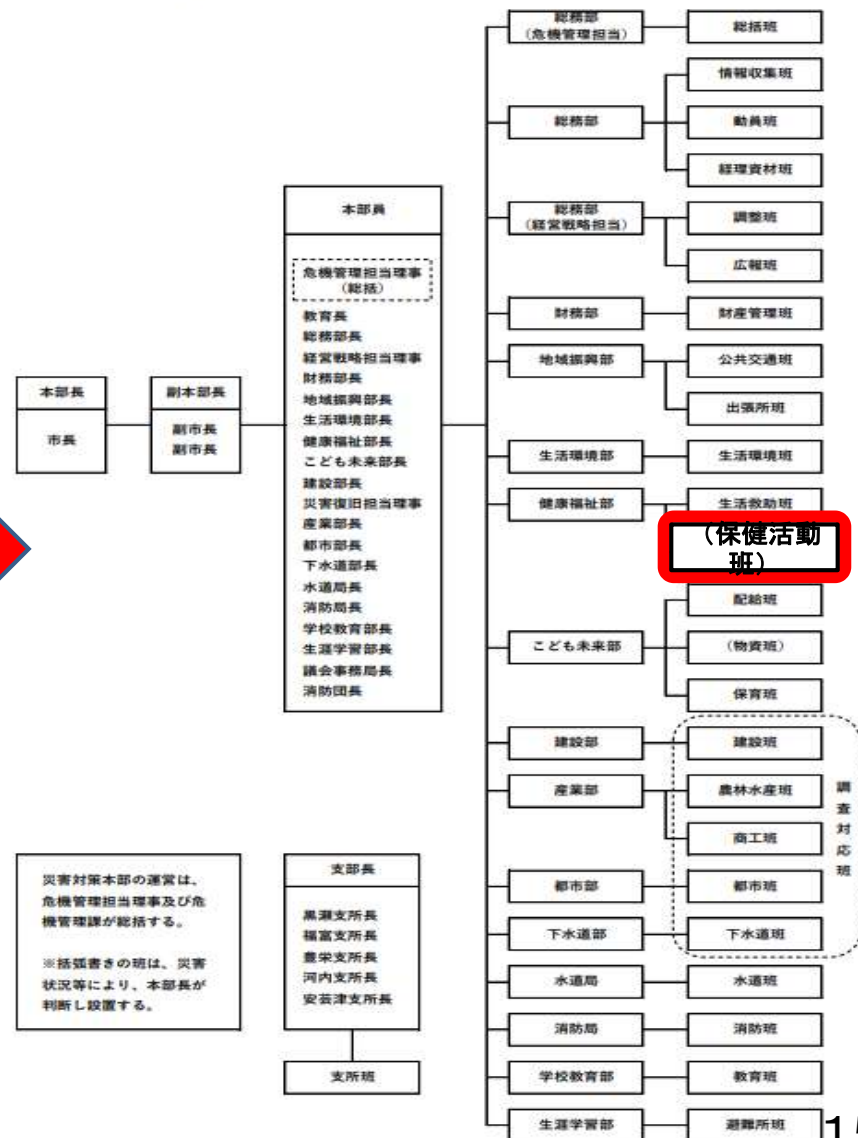
1 災害対策本部の組織図（平成30年度）



災害後

別表

1 災害対策本部の組織図（令和3年度）



マニュアル

東広島市災害時保健活動 マニュアル

～保健師の活動を中心に～

令和2年10月

東広島市

◇◆◇目 次◇◆◇

災害時の保健活動（保健師）の役割
～災害時保健活動マニュアルと
アクションカードを準備する～

- 1 マニュアル策定の目的・・・・・・・・・・ 1
- 2 災害時保健活動の目的・・・・・・・・・・ 1
- 3 保健活動班体制・・・・・・・・・・ 1
- 4 保健師の役割別業務（活動）内容
～フェーズごとの保健活動・・・・・・・・ 2

災害時関係機関からの声

健康福祉部長（当時）

「保健師が1つになって活動していた。」

危機管理課職員（当時）

「保健師にしかできないことを、やって欲しい。」

社協（ボランティアセンター）職員（当時）

「保健師の動きがわからなかった。知らなかった。いい動きをしていたと後で知った。当初から知っていたら良かった。」

災害を経験して

- * 平時から統括保健師を配置し、災害に備えた体制づくりが必要
- * まとめと振り返りを行い、今後に活かせるような準備が必要
- * 災害時の保健師の役割を認識し、平時から保健師全員で共有し、シュミレーションしておくことが必要（年1回保健師で災害研修会を実施）
- * 平時の保健活動を通して地域を知り、関係機関の顔が見える関係づくりが必要（保健所・社協・自治会・民生委員・医療機関等）
- * 保健師の人材育成を体系的に行うシステムが必要（保健師研修会を年6回実施）
- * 地域を良く知るためには、地区担当制での活動が必要

災害後・・・

平時の保健活動

＊ 平時の保健活動を通して地域を知り、関係機関の顔が見える関係づくり（社協・地域包括・自治会・民生委員・小中学校等）と実践

- ①小地域での避難訓練及び避難行動要支援者避難個別支援プランの作成を自治会・社協・地域包括等関係機関と共同で実施
- ②中学校で多機関が連携した安芸津活性化プロジェクトを実施

大芝地区 平時の保健活動

～避難行動要支援者協議から
住民参加の避難訓練実施と、これから～

大芝の観光名所の1つ



大芝から見える小芝島
通称＝ハート島♡

大芝の人口は
約**62**世帯**132**人
(令和**4**年度末)



大芝南地区（**65**歳以上の住民がいる世帯を 対象）全戸訪問による聞き取り

大芝地区住民自治協議会会長（以下自治会長）と社会福祉協議会**CSW**と協力し、大芝南地区（65歳以上の住民がいる世帯を対象）全戸訪問による聞き取りを実施。事前に自治会長の協力のもと対象住民にチラシを配布。平成**30**年豪雨の際に被災された住民を優先的に、健康状態の把握・被災状況等の聞き取りを実施。



「つながり」を大切にした防災と地域づくりを
～ 平時から減災にむけた取組を～

大芝南地域の高齢者の皆様へ

安芸津支所福祉保健課と社会福祉協議会が、日頃の生活状況と災害時（平成30年）の状況、防災対策などについて聞かせていただくために、各ご家庭を訪問します。

ご理解とご協力をお願いします。

◆月 日◆令和5年1月20日（金）午後：30分程度

◆場 所◆各家庭（訪問します）

◆聞き取り内容◆生活状況（食事・運動・睡眠など）
災害の被災状況（平成30年の被害・困ったことなど）

◆訪問者◆安芸津支所福祉保健課・社会福祉協議会



問い合わせ先：安芸津支所福祉保健課
電話：0846-45-2065

R4年度大芝地区訪問から見たこと(R5年1月20日訪問)

大芝南地区:65歳以上の高齢者を対象とした訪問 対象12世帯 延べ9世帯訪問 実6世帯(12人分)の訪問による聞き取り

交通手段

- ・自家用車
- ・免許返納しタクシー利

運動

- ・畑仕事

食事(買い物)

- ・とくし丸(月・木)利用
- ・島外での買い物は週1回程度

→基本的にはとくし丸で生活に必要な物はそろ
とくし丸で買い物をする買い忘れも少なく済む

島内の社会資源

- ・サロン(月2回)
- ・とくし丸(月・木)
- ・海辺の里大芝(朝市)
- ・島民の集まる機会(総会・花見・説教会)

キーパーソン

- ・自治会長
- ・区長
- ・民生委員

相談先

- ・自治会長
- ・島外に住む家族

社会参加

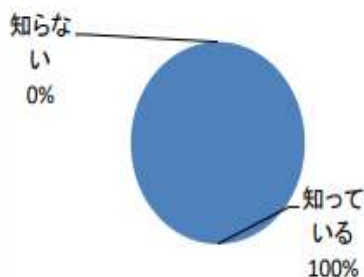
- ・サロン
- ・地区懇談会
- ・とくし丸

課題

- ・垂直避難を考えている
- ・災害後孤立した場合の対応をどうするか
- ・2~3日分の食事・水分・生活用品の準備
- ・H30年の時には島内に透析患者があり、船で病院受診も検討された
- ・孤立後の安否確認の方法が必要(黄色いハンカチ等)
- ・学びの場の提供及び防災訓練(参集訓練など)
- ・住民のつながりはある→つながりを災害時にどう生かす?
- ・住民で考える機会を作る
- ・持ち出し用品を一緒に考える(なぜ必要かを)
- ・非常食の試食
- ・災害ごと(台風・地震・豪雨)の課題を考える

聞き取り結果集計

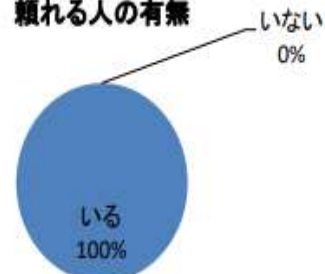
避難場所の認知



避難準備の有無



頼れる人の有無



避難行動の有無



避難場所の認知

知っている	6
知らない	0

避難準備の有無

している	2
していない	0
不明	4

頼れる人の有無

いる	6
いない	0

避難行動の有無

できる	3
できない	0
しない	3

大芝南地区避難訓練に向けての準備

大芝南地区 避難訓練のご案内

日時

令和5年6月3日(土)
午前11時～午後3時



11時に電話での連絡がありますので、
ご自宅で待機しておいてください。

場所

海辺の里おおしば

内容

- 避難方法及び安全確認
- 炊き出し
- 災害装備品の確認
- 代替品の作成体験

当日は
【東広島まるひネット】
の取材があります！

大芝南地区にお住まいの方を対象とした避難訓練を実施します。

つながりを大切にした防災と地域づくりを地域の皆さんと一緒に考えてみませんか？

普段の地域のつながりが、災害時に自分・家族・地域を守ることに繋がります！

ぜひ、ご参加ください！

主催
大芝地区住民自治協議会

ご協力
東広島市 安芸津支所 福祉保健課
東広島市 地域共生推進課
東広島市 社会福祉協議会



作成：東広島市 安芸津支所 福祉保健課

事前に避難訓練の案内を自治会長に対象住民及び自治協議会役員に配布してもらいました。

大芝南地区避難訓練

当日参加者

住民：24人

- ・大芝南地区住民
- ・大芝自治協議会役員
(大芝東・西・南・北)

スタッフ：11人

- ・地域共生推進課
- ・安芸津支所福祉保健課
- ・東広島市社会福祉協議会
- ・安芸津地域おこし協力隊
(まるひネット取材)

自治会長・スタッフで 事前の最終打ち合わせ



自治会長とスタッフで
事前に当日の流れの
確認！



当日参加のスタッフにも
情報共有できました！

参集訓練

11時に自治会長・副会長・南区長より対象住民に
避難の呼びかけ電話！

その後、避難所の【海辺の里 おおしば】に避難！



自治会長さん達の
「一声」に集まる
住民！



大芝地区の住民は日頃
からつながりがある為、
事前に避難訓練の連絡
があったことで、時間
になると集まって来られ
る方も多くいました。



段ボールベッド・エアベッド等 災害備蓄品の体験

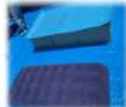
段ボールベッドは
多くの人が使って
も丈夫！



住民と一緒に作成し
使用感を体験！



必要に応じて、窓やドア
が作れる仕切り！
実は段ボールベッドにも
かぶせられるんです！



エアベッドは
寝返りが難しく
意外と不評...



炊き出し訓練・非常食試食



女性陣が作ってくれた炊き出し！
平成30年豪雨の際も持ち寄り
で炊き出しをされたそう！
災害時に避難所で手作り料理が
食べられたら嬉しいひと時に...

高齢者には、
非常食は塩分が多く
少量でも食べるのが
しんどいとの声も...



過去の災害について
話す機会になり
盛り上がりました！

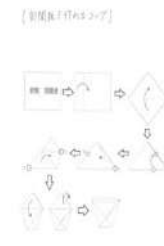


災害代替品紹介

さっそくサロンでも
作っていただきました！
「絵を見るだけでは難しかった
けど、落ち着いて作れば出来た」と
のことです。
次につながるものになりました！



新聞紙スリッパ
を作るときは
コシはつま先を
厚めに！



アンケートより

参加者の声 【災害時に不安なこと】



避難場所に行く道
が危険箇所でも道も
狭く逃げる際不安

家の裏が山

高潮
裏山がけ崩れ

大雨時排水不良

通信状況が悪い

1人の時

◆今後の課題◆

5年後に持ち寄った炊き出しができるか・・・

5年先・10年先を考えた避難準備行動の必要性

- ・ 災害持ち出し品の準備をしている家庭が少ない
- ・ 自治会長が不在時の災害対応は？

◆まとめ◆

【必要なこと】

- ・ 平時から住民同士のつながりづくり
- ・ 平時にできる防災・減災に関する準備
- ・ サロンなどの場を活用し、防災に関する情報提供を行う
(大芝サロンで平時からの準備について啓発)
- ・ 住民と市・社協等との連携
- ・ 市役所関係部署の連携
- ・ 市と社協等関係機関との連携

「まるひネット
(大芝で検索)」
避難訓練の実際を
紹介をしています。



避難行動要支援者避難支援プラン (個別プラン)

関係者で

- 関係者で協議～個別プラン作成について
(社協・担当課・支所)

自治協と

- 自治協との協議～作成についての進め方
(自治協・社協・担当課・支所)

プラン作成

- 個別計画策定会議～具体的なプランに
↳ (家族・自治協・居宅・社協・担当課・支所)
- 自宅から避難所までの経路を確認

避難訓練で
実際を確認

- 個別計画を実際に避難訓練にて実演し、課題を整理し見直しを行う
↳ (家族・自治協・消防署・防災担当課・プラン担当課・社協・支所)

平時の活動：地域づくりの実践 ～健康格差対策：中学校の総合学習～

※地域を担う

～安芸津活性化プロジェクト～

～安芸津中学校 3 年生の総合的な学習～

専門職との協働プロジェクトです！

地域共生社会ポータルサイト

シアエール（シアエールでやってみたで検索）で紹介中！



安芸津支所
福祉保健課

骨密度測定

- ・木谷小・三津小・風早小（6年生）
- ・中学校（1～3年生）
- ・児童館・すくすくサポート（ママ骨）

安芸津地域
包括支援センター

認知症サポーター 養成講座

- ・三津小（4年生）
- ・木谷小（4～6年生）
- ・風早小・中学校 R5年度から

社協安芸津支所

福祉教育

- ・木谷保育所：特産物を使ったカレー作り
- ・風早小5年生：防災学習・しめ縄だけん
- ・中学2年生：HUG・つばさアルミ缶絵作成
- ・豊田高校：共同募金・つばさ交流・ボランティア部
- ・木谷小：地区社協との連携



令和5年度

安芸津中学校3年生 総合的な学習の時間

『自分を大切にする 人を大切にする 地域を好きになる』

※共生の視点
人との関わり体験重視

6月初旬

母子OB会
中学校
・乳児と交流
・妊婦体験

6月下旬

認知サポ
オレンジ会

7月中旬

福祉施設で交流
体験・学びの発表

児童館・子育て支援センター・
あきまろ園・つばさ・ひだまりの
家リロン・通いの場

〈クアーン映画〉※安芸津町の専門職を知ってもらう

R5:事業の内容

6月19日

①オリエンテーション（市・社協・地域包括）

6月20日

②認知症サポーター養成講座（地域包括）

6月29日・30日

③乳幼児ふれあい体験（児童館）

7月3日・4日

7月10日

8月30日

④ボランティア活動（社協）

（児童館・あきまる園・つばさ・ひだまりの家・はるかぜの家）

9月22日

⑤専門職とまとめ（あきまる園・児童館・つばさ・あきつの和・包括・社協・支所）

「すべての人が生活しやすい街にする」企画書（16班）発表アドバイス

10月28日

⑥文化祭で発表（選考し4班のみ）

11月7日

⑦事業アンケートの実施（骨密度測定時）

R6:事業の内容

6月17日

①オリエンテーション（市・社協・地域包括）

6月18日

②認知症サポーター養成講座（地域包括）

③乳幼児ふれあい体験（児童館）

6月24日・25日
7月1日・2日

④ボランティア活動（社協）

（児童館・あきまる園・つばさ・ひだまりの家）

7月5日

7月12日

⑤専門職とまとめ

あきまる園・児童館・つばさ・あきつの和・包括・社協・支所）

9月2日

「すべての人が生活しやすい街にする」企画書（16班）発表アドバイス

NEW

10月7日

⑥企画を実施（児童館・あきまる園・つばさ・ひだまりの家）

10月30日

⑦文化祭で発表（あきまる園・ひだまりの家）

11月11日

⑧事業アンケートの実施（骨密度測定時）

R7:事業の内容

6月20
日

①オリエンテーション（市・社協・地域包括）

6月20
日

②認知症サポーター養成講座（地域包括）

6月23日・24日
30日・7月1日

③乳幼児ふれあい体験（児童館）

7月14日

④ボランティア活動（社協）（三津保育所・あきまる園・つばさ・ひだまりの家）

9月19
日

⑤専門職とまとめ（あきまる園・児童館・つばさ・あきつの和・包括・社協・支所）

「すべての人が生活しやすい街にする」企画書発表・アドバイス

NEW

⑥ミニ提言会：2層関係者ネットワーク会議

10月30日

- ⑦文化祭で発表

NEW

11月14
日

⑧大人への提言：発表会

11月
日

⑨事業アンケートの実施（骨密度測定時）

「地域を担う～安芸津のために自分達ができること～」



安芸津の現状について話を聞く

安芸津町の保健福祉専門職

安芸津商工会議所 (R6)



ボランティア体験

児童館・保育所

あきまる園

ひだまり

つばさ



安芸津町の課題整理

話を聞きき現状を知る

ボランティア体験を通して



課題解決の視点 (専門職からのアドバイス)

すべての人が生活しやすい町づくり

人が集まる魅力的な町づくり



安芸津活性化を目的とした中学生によるボランティア体験の企画・立案

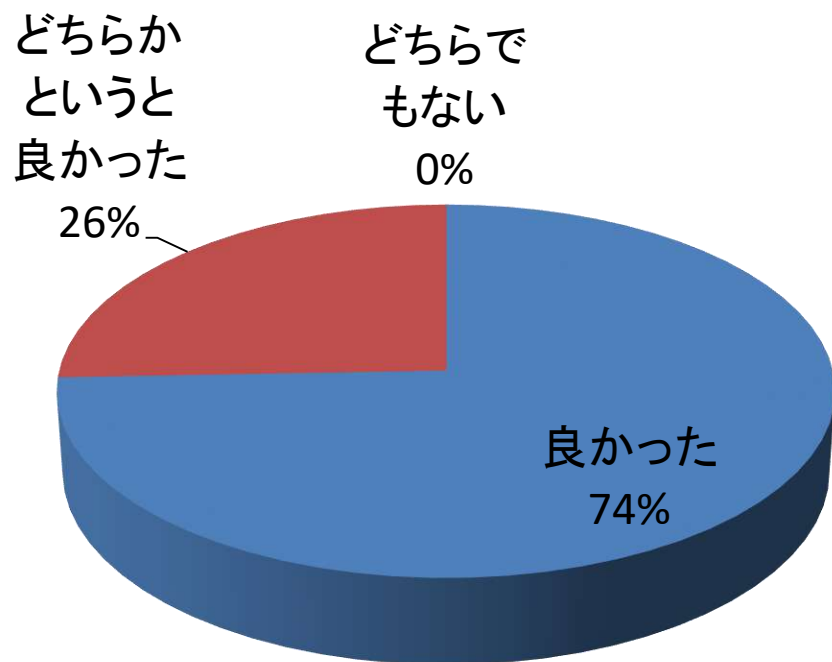


企画を実施 (ボランティア体験の実際) ・発表・大人への提言

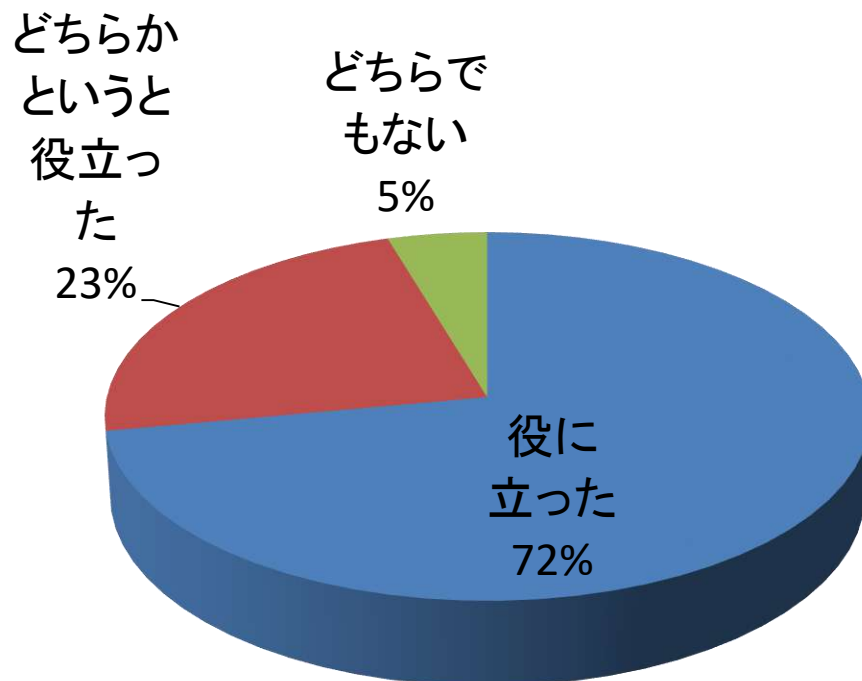
地域に貢献したい

R6中学生アンケート結果

【満足度】



【役立ち度】



ボランティア体験を通しての感想

ふれあい体験など

- ・母の大変さが一番よくわかった
- ・新しい視点を知る事ができた
- ・地域の現状が知れ問題を身近に感じながら企画を考えれた
- ・地域に貢献できた
- ・将来に役立つ事が多かった

コミュニケーション

- ・地域の人とコミュニケーションが取れた

知る

- ・安芸津の現状が知れた
- ・人と接することは意外と難しい

これからの行動

- ・安芸津の活性化のために若い人が行動しないといけない
- ・将来どんな安芸津になっているか考えさせられて、ボランティアにも積極的に参加したい

嬉しかったこと

乳幼児とのふれあい体験

- ・小さい子を見て、母親の気持ちが分かった気がした。
- ・小さい子どもが自分たちを頼ってくれて嬉しかった。
- ・子どもが笑ってくれると嬉しかった。
- ・小さい子がたくさん話しかけてくれて嬉しかった。

障がい者とのふれあい

- ・つばさの従業員と一緒にボランティアを楽しめたことが嬉しかった。
- ・「ありがとう」と言われたこと。

ボランティア体験

- ・みんなが楽しそうにしている嬉しかった。
- ・普段関わらない地域の方々と関わってよかった。

企画を形にして

- ・文化祭で発表する貴重な体験を行うことが出来たり、様々な人々と関わることが出来て良い経験になった。
- ・知らないことがたくさん知れたり、みんなとふれあい体験をしてみて感謝の気持ちを言われた時やふれあっている時楽しかったし、嬉しかった。
- ・「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えられたり、笑顔で喜んでくれた時嬉しかった。
- ・自分たちの考えた企画で事業所の人達が楽しんでくれたこと。
- ・地域の人々の顔を見るとやりがいを感じ、嬉しかった。

高齢者とのふれあい

- ・「また来てね」と言っていただけで嬉しかった。
- ・高齢者の方々の笑顔が見れて良かった。
- ・高齢者の方と交流をして、楽しそうにしていたり優しくされたとき

取り組みたいと思ったこと

ボランティア体験

- ・積極的にいろんなボランティア活動に参加したいと思った。
- ・ボランティア体験を通して役立つことは、自分も相手もうれしいとわかり、自分からも積極的にボランティアなどに参加したい。
- ・ふれあい体験で学んだことを今後活かしていきたい。
- ・今回の体験を元に、活かして人と関わりたい。

地域活性化とこれから・・・

- ・安芸津が活性化できるように貢献したい。
- ・元気であいさつをし、活気あるまちづくりしていきたい。
- ・今後は安芸津のためにできることは何か考えていきたい。
- ・今後安芸津に役に立つ取り組みをしたいと思った。
- ・子どもとふれあいをして優しい言葉をかけたいと思う。
- ・みんなが笑顔になれるようなことをしたい。
- ・今後困っている人がいたら助けることができる。
- ・貴重な経験をたくさんしたから、それを活かしてこれから頑張っていきたい。

健康危機管理（自然災害・感染症パンデミック等）

わかる・できる・使える 宝箱・道具箱 と 広がる 社会ネットワーク

…四つ葉のクローバーは踏まれたところから生まれる…

🏠 HOME > 健康危機管理に関する活動・ツール・体験等

令和4年度地域保健総合推進事業
「災害時における自治体保健師間(ネットワーク)の検討」班のWEBページ

🍀 健康危機管理に関する活動・ツール・体験等

東広島市災害時保健活動マニュアル、アクションカード（R4.4更新）

▶ 東広島市災害時保健活動マニュアル 

▶ アクションカードその1 

▶ アクションカードその2 

▶ アクションカード資料編その1 